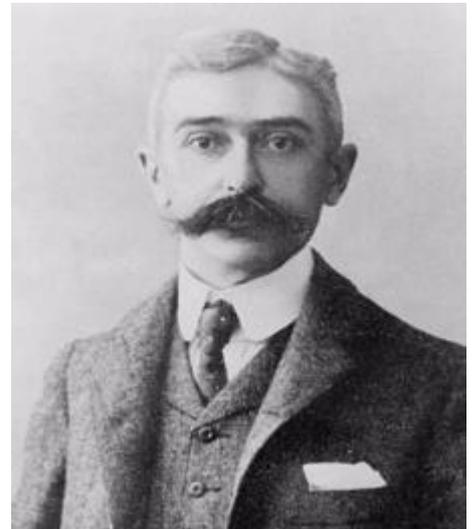


平昌オリンピックがスタートしました。連日ニュースでオリンピックの話題で盛り上がっています。今回は生徒会のみんながオリンピックについて調べたことを掲載しました。

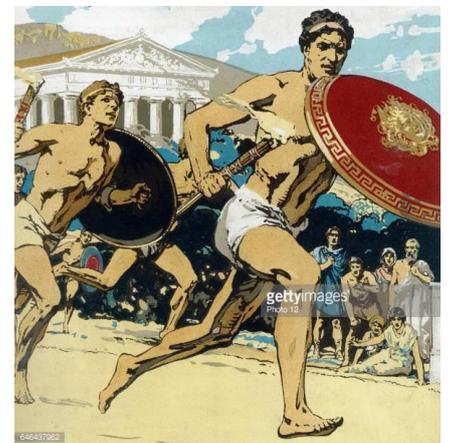
○〈生徒会レポート〉近代オリンピックの目的は「世界平和」

近代オリンピックの始まりについて知っていますか。始まった場所はギリシャのアテネだそうです。そして、開催の中心となったのは、ピエール・ド・クーベルタンという人物です。五輪マークがありますが、実は、クーベルタンさんが考案したものだそうです。ご存じの通り、青・緑・黄・赤・黒の5つの輪が隣り合ったマークですが、これには深い意味が込められています。5つの輪はヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの五大洲を表しているのです。輪が隣り合うことで、「人々が手を取り合う」という意味が込められているのです。つまり、オリンピックとは、「世界中の人々がスポーツを通して、手と手をつなぎ合わせよう」という願いを発信している「平和」の行事なのです。これらのことを考えると、今回のオリンピックを通して、各国の絆がどのように深まっていくのか、世界平和に繋がっていくのかということが、大切な問題であると思えてくるのです。ぜひ、今回の大会が世界平和に繋がってほしいですね。（片岡 礼輝）



1896年に始まった近代オリンピック。その前身となったのは紀元前9世紀ごろに行われていた、「オリンピア祭典競技」。古代ギリシャで行われていた古代オリンピックです。全能の神ゼウスをはじめとする神々を崇めるための競技祭でした。主な種目としては競走やボクシング、戦争競争などです。当時のギリシャではいくつかのポリス（都市、都市国家）が戦争をしていましたが、宗教的に大きな意味があったオリンピアの祭典には絶対に参加しなければなりません。最終的に3ヶ月間休戦することになりました。これが「聖なる休戦」と言われるものです。現在のオリンピックは「世界平和」を究極の目的としたスポーツの祭典となっています。オリンピックを通して、国と国との問題が解消されれば良いなと思いました。（藤川 由宇）

私は、今回古代オリンピックと近代オリンピックの共通点について調べてみました。まず、1つ目は開催が4年に1度で8月に行われているということです。4年に1度行われている理由は、様々な説がありますが、一番有力なのは、古代ギリシャ人が太陰暦を使っていて、8年という周期が重要な意味を持っていたからだそうです。暦を司るのは神官であり8年ごとに祭典が開かれるようになり、後に半分の4年周期となったことが由来のようです。2つ目は「平和の祭典」という理念が掲げられていることです。前述の通り、古代オリンピックは非常に神聖視され、開催中は戦争行為を中止して成功を祈っていたそうです。そして、近代オリンピックでも世界平和を祈念する理想を掲げています。3つ目は、共通して行われた種目があることです。その例として、陸上、やり投げ等があげられます。こうしてみると、古代も近代も「平和」というのが重要な要素となっています。私は調べて、平等に国や人々が参加でき、平和を未来につなげるオリンピックになれば良いなと思いました。（榊原 鈴）



次号も生徒会のメンバーの記事を掲載します。読んでいる皆さんからもオリンピック、パラリンピックについて知っている話、感動する話など募集しています。また、調べてほしいことや質問なども受け付けています。よろしくお祈りします。（梅津 潤一）